

令和7年11月21日

地域協働課 主査 照山 彩乃

令和7年度可児っ子海外交流訪問団報告書

■派遣先 オーストラリア レッドランド市および周辺都市

■日程

- ・募集期間 3月3日（月）～3月27日（木）
- ・面接 4月12日（土）、13日（日）
- ・説明会 5月31日（土）
- ・交流会 6月20日（金）
- ・研修 6月30日（月）、7月14日（月）、7月18日（金）
- ・表敬訪問 8月8日（金）
- ・派遣期間 8月13日（水）～8月22日（金）
- ・帰国報告会 9月13日（土）

■目的 可児市の子どもたちが海外を訪問し、現地の人々と触れ合う機会を提供すること、また国際的な感覚と幅広い視野を持ち、物怖じせずコミュニケーションできる人材を育成すること。

■派遣者 18人

（1）市内在住の中学生・高校生 15名

学年別	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
人数	0	1	3	6	4	1	15

（2）可児レッドランド交流委員会 1名

（3）地域協働課職員 2名

■行程

	日付	時間	行程
1	8月13日（水） 機内泊	13:00	市役所出発：バスにて関西国際空港へ
		21:45	関西国際空港出発（直行便）
2	14日（木） ホームステイ	現地時間 7:30	ブリスベン空港着/入国手続き
		10:00	RSPCA（王立動物虐待防止協会）見学
		14:00	クリーブランド高校着 ホストファミリー対面
3	15日（金） ホームステイ	8:30～15:00	クリーブランド高校 学校体験
		内 11:00～12:00	レッドランド市長表敬訪問
4	16日（土） ホームステイ	8:30～15:00	ノースストラッドブローグ島にてエコツアー （AJWCEF 主催）
5	17日（日） ホームステイ	終日	ホストファミリーと自由行動

6	18日（月） ホームステイ	8:30～15:00	クリーブランド高校 学校体験
7	19日（火） ホームステイ	8:30～15:00	クリーブランド高校 学校体験
8	20日（水） ホテル泊	8:30	クリーブランド高校集合 バスにてブリスベンへ移動
		10:00	ブリスベン中心市街散策 クイーンズストリートモール ※昼食含自由行動
		17:30	市街レストランにて夕食
9	21日（木） ホテル泊	9:30	サウスバンク散策 ※昼食含自由行動、州立博物館・美術館見学
		13:30	クイーンズランド大学キャンパスツアー キャンパス内のレストランにて夕食
		18:30	ブリスベン到着 帰宅
10	22日（金）	8:00	朝食後チェックアウト、空港へ移動
		11:40	ブリスベン空港出発（直行便）
		日本時間 20:45	関西国際空港着/入国手続き バス移動
		24:30	可児市役所到着 解散

■派遣経緯

レッドランド市との協定について

平成27年にレッドランド市と可児市が協力のもと、異言語によるコミュニケーション能力の向上を図り、また市民間の交流の機会を提供することで異文化理解を深め、両市の市民にとって恩恵のある事業を展開することを目的とし、「教育および文化における協定」を締結した。

クリーブランド高校について

レッドランド市で唯一国際的認可団体（C I S：国際学校協議会）の認定を受けており、クイーンズランド南東地区で最も人気が高い中高一貫校（Year 7～Year12）である。アート、言語、スポーツに特に力を入れており、農業、科学などの特別プログラムもある。

■派遣内容

1日目 8月13日（水） 出国

可児市役所を出発し、バスにて関西国際空港へ向かう。搭乗手続きを済まして出国。



2日目 8月14日（木） RSPCA（王立動物虐待防止協会）見学、ホストファミリーと対面

○RSPCA（王立動物虐待防止協会）見学

関西国際空港から約8時間半のフライト後、ブリスベン空港に到着し、チャーターバスにてRSPCA（王立動物虐待防止協会）へ向かう。

RSPCAでは、病気や怪我、虐待を受けた動物などを保護し、治療及び飼育、動物の引渡しをしている。保護されているたくさんの動物は、犬や猫をはじめ、鳥、馬、蛇など様々な種類が保護されている。訪問団は、RSPCA及びAJWCEF（オーストラリア日本野生動物保護教育財団）スタッフによるセミナーを受講し、施設見学後、昼食歓迎会に参加した。



○ホストファミリーと対面

チャーターバスにてRSPCA（王立動物虐待防止協会）からクリーブランド高校へ移動。高校の歓迎を受けた後、ホストファミリーと対面。各自ホストファミリー宅へと帰宅。



3日目 8月15日（金） 学校体験、レッドランド市長表敬訪問

○学校体験初日

授業前にバディと対面。（※バディについて、派遣生1人につきクリーブランド高校の同年代の生徒が割り当てられる。学校案内、モーニングティーやランチの時間を一緒に過ごす。）

1限目、クッキング教室にて、IB（国際バカロレア）コースの生徒たちとペアになり、ティムタムボールを作成し、ラッピングした。



○市長表敬訪問

モーニングティーと2、3限目の時間を利用し、レッドランド市役所にて市長表敬訪問。ミッチェル市長に急用が入ったため、ポール・ビショップ議員に代理で出席いただき、お互いの親書や土産を交換した。その後、ポール議員及び市職員からレッドランド市や議会の仕組みなどについて説明を受け、オープンな交流を行った。



○学校体験

クリーブランド高校に戻ってからは、バディと一緒に各自好きな場所でランチを食べた。

4限目は日本語教室に参加し、両言語によるゲームや折り鶴作成を行った。授業終了後は、ホストファミリーの迎えにて帰宅。

4日目 8月16日（土） ノースストラッドブロック島エコツアー

ノースストラッドブロック島は、世界で2番目に大きな砂の島である。鳴き砂と呼ばれる白い砂浜と、透き通る青い海が特徴的で、レッドランド市が誇る観光スポットである。A J W C E F（オーストラリア日本野生動物保護教育財団）のガイドのもと、フェリーで移動し、生徒達は島に生息するコアラやカンガルー、クジラ等様々な野生生物を見たり、大自然に触れたり、博物館を見学したりなど、有意義な時間を過ごした。





5日目 8月17日（日） ホストファミリーと終日過ごす

各ホームステイ先で休日を過ごした。ショッピングや動物園に連れていってもらうなど、ホストファミリーと交流を深めることが出来た。

6、7日目 8月18、19日 学校体験 お別れパーティー

○学校体験2、3日目

- ・各学年や先生の日本語教室に参加し、自己紹介ゲーム、かるた、日本に関するクイズなど、英語と日本語を交互に使用しながら交流した。
- ・バディとのモーニングティー、ランチ、選択授業に参加し、バディやその友達と交流した。
- ・8/19最後の授業では、お別れパーティーに参加し、バディやその他生徒たちと立食やカラオケ等で交流した。





8日目 8月20日（水） ブリスベン散策

○ブリスベンの市街中心地散策

ホテルから徒歩にて、現地ガイドのもとブリスベン中心地各所を散策。セントジョンズ大聖堂、アンザック広場、シティーホール（博物館見学）、ボタニカルガーデンに立ち寄り、各所の歴史や文化等を学んだ。



○クイーンズストリートモール散策

クイーンズストリートモールは、ブリスベン中心部に位置するショッピングとライフスタイルの融合エリアである。歩行者天国になっており、ブランド、アパレル、化粧品、雑貨、飲食など様々なショップが500店舗以上並ぶブリスベンの観光スポット並びに市民の憩いの場ともなっている。

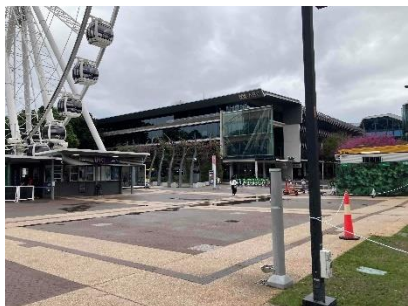
昼食からショッピングまで自由行動とした。

9日目 8月21日（木） サウスバンク散策、クイーンズランド大学キャンパスツアー

○サウスバンク周辺散策

サウスバンクとは、ブリスベンの活気ある文化の中心地で、公園、ギャラリー、レストラン、カフェ、人工ビーチなどで活気あふれるブリスベンの観光名所である。

博物館や美術館にて様々な文化にふれたり、周辺を自由に散策して建造物などの景観にふれたりした。



○クイーンズランド大学キャンパスツアー

クイーンズランド大学は、世界大学ランキングで常に上位にランクインしている名門大学である。キャンパスはとても広大で、大きな図書館やレストラン、カフェなども入っており、キャンパス一帯でひとつの町のようになっている。

ブリスベン川を運行しているフェリーに乗船してクイーンズランド大学へと向かい、オーストラリア交流顧問兼A J W C E F（オーストラリア日本野生動物保護教育財団）代表の水野氏の案内によるキャンパスツアーに参加した後、同氏によるセミナーを受講した。また、受講後は、大学内のレストランにて夕食送別会を開催していただき、同氏との交流を深めた。

帰りもフェリーに乗船し、ブリスベンの夜景を見ながら帰宅した。



10 日目 8 月 22 日（金） 帰国

ブリスベン空港を現地時間午前 11 時 40 分に出発し、関西国際空港へ。関西国際空港からバスにて可見市役所へ向かい、24 時 30 分に到着、保護者の方に迎えられて解散した。

■所感

派遣団員たちは、この派遣を通して、多くの感動と気づき等を得たようです。

印象に残っていることとして、ホームステイ、学校体験、動物保護、自然環境について特に挙げられていました。

ホームステイや学校体験では、ホストファミリー、バディ、学校の先生や生徒たちから手厚い歓迎を受け、最初は緊張している様子でしたが、表情やジェスチャーを使いながら自ら話しかけるなどして、コミュニケーション能力を高めることが出来ていました。また、学校では、モーニングティーの時間があることや、授業が生徒主体であり、自由に発言している様子を体験、視認し、日本とは違う文化やルール、現地高校生の積極性に驚いた様子が見受けられました。これらを通じて自己表現能力を上げ、コミュニケーションが取れるようになったことで、日数が経過するにつれて派遣生及び現地生徒の笑顔が増えていきました。ホームステイや学校体験で多くの人々と交流出来たことが、派遣生にとって一番の思い出となっています。

さらに、学校やホームステイ先に、オーストラリア以外の国にルーツをもつ方が想像以上に多いことに驚いた様子も見受けられました。また、ホストファミリーと外出したレストランやスーパーにおいて多国籍の品物が販売されていることを発見でき、オーストラリアという国が多文化、多様性を受け入れているおおらかな国であることを実感し、感動していました。

動物保護に関しては、R S P C Aを訪問した際の施設見学やセミナーにおいて、施設スタッフやオーストラリア交流顧問の水野氏の話聞き、動物保護の概念が日本とは違い、オーストラリアが動物ファーストであることに衝撃と感銘を受けていました。

自然環境については、ノースストラッドブローック島の大自然に触れたり、様々な野生動物を発見出来たりしたことや、街中の自然保護や環境整備が地域住民の手で行われていること、また、川を利用した水上公共交通手段や、街中の公園に自然が溢れて憩いの場になっていることなど、自然が人々の生活に欠かせないものであると気づき、感動していました。

その他に、クイーンズランド大学キャンパスツアーに行き、大学見学やオーストラリア交流顧問の水野氏の生い立ちや人生の転機等の話を聞き、留学や海外で働くこと、英語力が必要な職業に就くことを具体的に意識できるようになるなど、自身の将来についての視野が広がった様子でした。

以上のことから、派遣生たちは、この派遣における市及び自らの目的を達成することができ、新たな目標を見出したようです。この研修が派遣生 15 人全員にとってかけがえない体験となったことは間違いありません。